





# 岩手県立 宮古商工高等学校

普通	理数	体育	農業	工業	商業	水産	家庭	総合
----	----	----	----	----	----	----	----	----

所在地	(商業校舎) 〒027-0024 岩手県宮古市磯鶏三丁目5番1号 (工業校舎) 〒027-0202 岩手県宮古市赤前第1地割81	
電話番号	(商業校舎) 0193-62-6856 (工業校舎) 0193-67-2201	
HPアドレス	note	
<a href="http://www2.iwate-ed.jp/myc-h/">http://www2.iwate-ed.jp/myc-h/</a> (二次元コード)		<a href="https://myc-hs.note.jp/">https://myc-hs.note.jp/</a> (二次元コード)
		

## ■設置学科・学級数・募集定員(R6)

- ☞商業科(商業校舎)・3学科3学級・120人
- ☞工業科(工業校舎)・2学科2学級・80人

## ■全校生徒数(R6.5.1現在)

- ・商業科(商業校舎)  
307人(1年91人、2年116人、3年100人)
- ・工業科(工業校舎)  
114人(1年38人、2年38人、3年38人)



商業校舎



工業校舎

## ■スクール・ポリシー(3つの方針)【概要】

### グレンジーション・ポリシー(育成を目指す資質・能力に関する方針) ～このような力を伸ばします～

- ◆無限の可能性を持つ生徒の資質や能力の伸長を図り、進取と創造性に富んだ心豊かな人間の育成を教育の基本とするとともに、地域の特性や産業構造に配慮し、宮古地区の専門教育を新たな時代に適応させ、多様化する産業社会で幅広く活躍することができる人材の育成を目指します。
- ◆産業社会を創造し、その発展を担う者として、課題の解決のために、自ら学び、自ら考え、主体的に取り組むことができる能力と態度を培い、確かな学力と豊かな心を育て、目標の実現に向けて努力する人材の育成を目指します。

### カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成及び実施に関する方針) ～このような学びを行います～

- ◆大学や研究機関、行政や地元企業との連携による学習を通して、専門教科の深化を図る取組を行います。
- ◆卒業後の進路を見据え、実習等を通じて進学や就職等に必要知識や技術を身につけるとともに、各自で設定した資格取得に励みます。

### アドミッション・ポリシー(入学者の受入に関する方針) ～このような生徒を待っています～

- ◆自分から第一歩を踏み出し、チャレンジしようという前向きな姿勢を持った生徒
- ◆職業人として必要なビジネススキルをしっかりと身につけようとする生徒
- ◆モノづくりをとおして地域産業の発展に貢献したいと考えている生徒
- ◆各科で学ぶ目的意識を持ち、資格取得等を通じて自分の能力やスキルを高めた生徒

## ■学校の特徴

- ◆令和2年度に、商業科・工業科を校舎制により設置する高校として開校しました。校訓「尽心・礼節・中庸」のもと、宮古商業高校及び宮古工業高校の伝統を継承し、両校の学習内容を維持することで、社会で幅広く活躍する人材育成を目指します。
- ◆総合ビジネス科◆ ～幅広い知識の習得を目指すなら～  
商業に関する基礎的・基本的な知識と技術を学びます。2年次から、マネジメント力を身に付ける総合ビジネスコース又は会計分野に特化した会計ビジネスコースを選択し、総合的なビジネス人材や会計ビジネス人材を育成します。
- ◆流通ビジネス科◆ ～販売サービスのプロを目指すなら～  
流通・観光に関する基礎的・基本的な知識と技術を学び、流通・観光の意義と役割を理解します。専門科目の学習では地域の特色との関連性を高め、学びの確実な定着を目指すとともに、物流拠点、観光産業の担い手となる人材を育成します。
- ◆情報ビジネス科◆ ～ITのプロを目指すなら～  
ICTに関する基礎的・基本的な知識と技術を学び、ICTの意義と役割を理解します。専門科目の学習では現代社会との関連性を高め、主体的に学習に取り組む態度を養いながら、地域社会の発展に寄与できるビジネス人材を育成します。
- ◆機械システム科◆ ～機械または設備の技術者を目指すなら～  
機械の設計に関する基礎的な知識を身に付けるとともに、機械加工や溶接・鋳造など金属加工の技術や技能を学び、製造業を担う創造力豊かな技術者を目指します。また、設備系選択科目の学習により、建物の居住空間の計画・設計、施工管理などの業務に従事する技術者を目指します。
- ◆電気システム科◆ ～電気の技術者を目指すなら～  
電力の発生・利用からエレクトロニクス、情報技術まで基礎的な知識を、ものづくりや電気工事士等の資格取得を通して学習し、社会に必要とされる電気技術者を目指します。また、設備系選択科目の学習により、建物の設備管理の業務に従事する技術者を目指すこともできます。
- ◆課題研究◆  
1・2年生で学んできた内容をもとに、それぞれの学科の専門技術を身に付け、興味関心のある課題を発見し、その解決方法を考え探究しています。  
■地域色活用商品の開発 ■地域紹介を伴うコンテンツ作成を目的としたプログラミング実習 ■まちづくり学習会 ■災害レスキューラジコンの製作 ■シーケンス制御の活用研究
- ◆部活動◆ 活動場所:商業校舎、工業校舎、その他  
硬式野球・陸上(男女)・バスケット(男女)・バレー(男女)・卓球・ソフトテニス(男女)・サッカー・ラグビー・柔道・ソフトボール(女)・剣道・ヨット・弓道・レスリング・美術・書道・吹奏楽・家政・茶道・ワープロ・宮商工海鳴太鼓・芸術・工作・商業同好会・工業同好会
- ◆主な学校行事◆  
対面式・体育祭・芸術鑑賞会・商工祭・修学旅行・課題研究発表会・インターンシップ・生徒総会

【様式2】

岩手県立宮古商工高等学校「特色化・魅力化ビジョン」概略図

校訓 「 尽心 礼節 中庸 」

学校教育目標

- (1) 意欲的に問題に取り組み、自分で考え抜く態度を養う。
- (2) 基本的な生活習慣と道徳心を身につけ、行動を自律できる能力を養う。
- (3) 勤労意欲と実践力を育て、調和の取れた人間として自己を実現させる能力を養う。

グラデュエーション・ポリシー  
(生徒育成指針、卒業までに育む資質・能力)

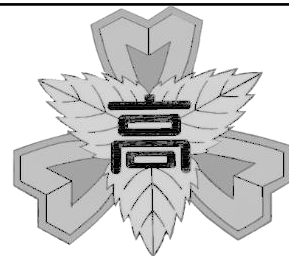
- ・無限の可能性を持つ生徒の資質や能力の伸長を図り、進取と創造性に富んだ心豊かな人間の育成を教育の基本とするとともに、地域の特性や産業構造に配慮し、宮古地区の専門教育を新たな時代に適応させ、多様化する産業社会で幅広く活躍することができる人材の育成を目指します。
- ・産業社会を創造し、その発展を担う者として、課題の解決のために、自ら学び、自ら考え、主体的に取り組むことができる能力と態度を培い、確かな学力と豊かな心を育て、目標の実現に向けて努力する人材の育成を目指します。

カリキュラム・ポリシー  
(教育課程編成・実施指針、高校生活で行う学び)

- ・大学や研究機関、行政や地元企業との連携による学習を通して、専門教科の深化を図る取組を行います。
- ・卒業後の進路を見据え、実習等を通じて進学や就職等に必要な知識や技術を身につけるとともに、各自で設定した資格取得に励みます。

アドミッション・ポリシー  
(生徒募集方針)

- ・自分から第一歩を踏み出し、チャレンジしようという前向きな姿勢を持った生徒
- ・職業人として必要なビジネススキルをしっかりと身につけようとする生徒
- ・モノづくりをとおして地域産業の発展に貢献したいと考えている生徒
- ・各科で学ぶ目的意識を持ち、資格取得等を通じて自分の能力やスキルを高めたい生徒



【機械システム科】

工業教育やものづくりを通して、専門的知識や確かな技能・技術を習得させ、産業発展や地域社会に寄与・貢献できる有為な人財を育成し、機械または設備の技術者を目指します。

【電気システム科】

工業教育やものづくりを通して、専門的知識や確かな技能・技術を習得させ、産業発展や地域社会に寄与・貢献できる有為な人財を育成し、電気の技術者を目指します。

【総合ビジネス科】

〔総合ビジネスコース〕

マネジメント能力を高め、幅広くビジネス社会で活躍できる資質・能力の育成を目指します。

〔会計ビジネスコース〕

将来、会計のエキスパートとして活躍できる資質・能力の育成を目指します。

【流通ビジネス科】

流通に精通した人財の育成を目指します。また、観光の意義と役割を理解し観光産業の担い手となる資質・能力の育成を目指します。

【情報ビジネス科】

プログラミング能力などのICT技術を活用し、高度情報化時代に即した社会に貢献できる資質・能力の育成を目指します。

特色ある教育課程(探究)

【工業校舎】工業校舎の3学年では、「課題研究」の中で、1,2年生で学んできた内容をもとに、それぞれの学科の専門的技術や興味・関心を持っている工業に関する課題を見つけてその解決のための実践的な学習を行います。ものづくり製作や鋳造、ロボット製作、マイコン応用ボード等に取り組んでおり、地域課題の解決の一環としては公共の設備を修理することで貢献もしています。将来の産業を担う者として探究しながら専門的な知識や技術を身につけます。

【商業校舎】商業校舎の3学年では、「課題研究」において、岩手県や沿岸地域の商業や経済活動などの課題を見つけ、その解決のために高校生の自分たちができることは何なのか、大学などの教育研究機関や市役所などの行政機関、地域の企業などと連携してその解決手法を学び、実践を通して地域課題の解決に取り組みます。

両校舎とも課題研究についての成果を発表する場として校舎ごとの課題研究成果発表会を実施している。課題研究成果発表会において各学科の代表が宮古地区学生研究・意見発表会に参加し、取り組み成果を共有しながら学びを深めている。